

ミラせん 学びの内容

第1回

6/7

教えるという
こと

学び① 子どもとともに希望を紡ぐ

幼児教育講座 高橋 英児(たかはし えいじ)教授

「教えるとは、希望を語ること。学ぶとは、誠実を胸に刻むこと」—フランスの詩人、ルイ・アラゴンの詩の有名な一節です。教育は、子どもたちが現在と未来を幸福に生きることができるようになるように育む営みですが、大人が一方的に教え導くのではなく、大人もまた子どもに教え導かれています。教育とは、大人と子どもが関わり合い、共に成長する「共育」でもあるのです。講座では、様々な事例を通して、この教育(共育)という営みについてみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

申込 5/1~5/31

学び② 「教える」ことと「教職」の魅力について考えよう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

第2回

7/12

子どもと
向き合うこと

学び① 体験！子ども理解：プロの視点で「子どものネット利用」を考える

やまなし小学校教育講座 若本 純子(わかもと じゅんこ)教授

心のプロである心理学者は、どのようにして子どもを理解しているのでしょうか。子どものネット利用を題材として、プロの視点を共有し、みんなと意見を出し合いながら、子ども理解についてともに考えていきましょう。

申込 6/1~7/3

学び② 「子どもと向き合う」ことと「教職」の魅力について考えよう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

第3回

8/9

子どもの
学びを
支えること

学び① ICTで学びを加速させる

附属教育実践総合センター 三井 一希(みつい かずき)准教授

皆さんはパソコンやインターネット、生成AIなどのデジタル技術(ICT)を普段どのように使っていますか?この講座では、実際にICTやクラウドツールを使いながら、学校の授業でどのように活用できるのかを体験します。ICTを使うと学び方はどのように変わのでしょうか。ICTが得意な人も苦手な人も大丈夫!これからの授業づくりと一緒に体験してみましょう。

申込 7/6~8/3

学び② 「学びを支える」ことと「教職」の魅力について考えよう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

第4回

9/20

子どもに
寄り添って
進むこと

学び① 一人一人の子どもに応じた教育 ～特別支援教育の視点から～

教職大学院教育実践創成講座 望月 公(もちづき こう)教授

学校って、楽しいところであってほしいですね。仲のいい友達がいる。おもしろい先生がいる。好きな部活動がある…。そして、新しいことを学ぶことも学校の楽しさのひとつです。でも、学びにくさや生活しづらさを抱えていて、学校生活の楽しさを味わうことが難しい子どももいます。ここでは、特別支援教育における“子どもに応じた教育”を取り上げながら、“子どもに寄り添う教育”について皆さんと考えていきたいと思っています。

申込 8/10~9/11

学び② 「子どもに寄り添って進む」ことと「教職」について考えよう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

第5回

10/11

教員になる
ということ

学び① それぞれのミライ予想図を描こう

附属教育実践総合センター 中込 司(なかごみ つかさ)特任教授

皆さんは将来なりたい職業は決まっていますか。教員の仕事にとっても魅力を感じているけれども本当になれるかなど決めかねている人、教員以外にもなりたい職業がありどちらにしようか迷っている人、恩師のような先生になりたいと思っている人など、それぞれだと思います。将来の道筋を決めるのは自分自身です。この回では、皆さんの思い描くそれぞれの教師像を語り合い、教員を選ぶミライについてイメージを広げていきましょう。

申込 9/14~10/5

学び② 私の「教師像」と「教員としてのミライ」について語りあおう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

お問い合わせ

山梨大学教育学部 TEL: 055-220-8104 (ミラせん担当)
甲府市武田4丁目4-37 Mail: mirait-as@yamanashi.ac.jp
アクセス: <https://www.yamanashi.ac.jp/access-map>

